



『ときわ2015. no.1 - Asian Botanical Garden』



『ときわ2015. no.2 - Asian Botanical Garden』

老若男女、貴賤を問わず誰もが楽しめることのできる芸術や芸能。その在りように惹かれます。観客あつての芸術。時代とともにあるべきもの。このようなものを作りたいと思ってきました。それは「型」にはまることを避けることでもありましたが、今回の作品ときわは、「青海波」や「松」という割付文様の「型」を使ってみようと思います。常緑樹の松は長寿のシンボルとして日本人に愛されてきたはずなんです。「常緑色」で「きわ」という美しい色名もここに由来します。決まりごとにはみ出す心。この両方が私には大事なことです。